

令和元年度 中小企業退職金共済 加入企業の実態に関する調査報告書

【概要版】



I. 調査概要

調査目的	本調査は、中小企業退職金共済（以下、「中退共」という。）加入企業における加入経路及び加入状況の実態について把握するとともに、事務手続等に対する要望等を調査し、サービス向上及び今後の中退共のあり方を検討する基礎資料とする。
調査対象	中退共に加入している共済契約者の中から6,000社を抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収並びにWEB回収
有効回答	3,351社（回収率：55.9%）（内訳：郵送回答 3,035社、WEB回答 316社）
調査期間	令和元年10月21日（月）～11月22日（金）

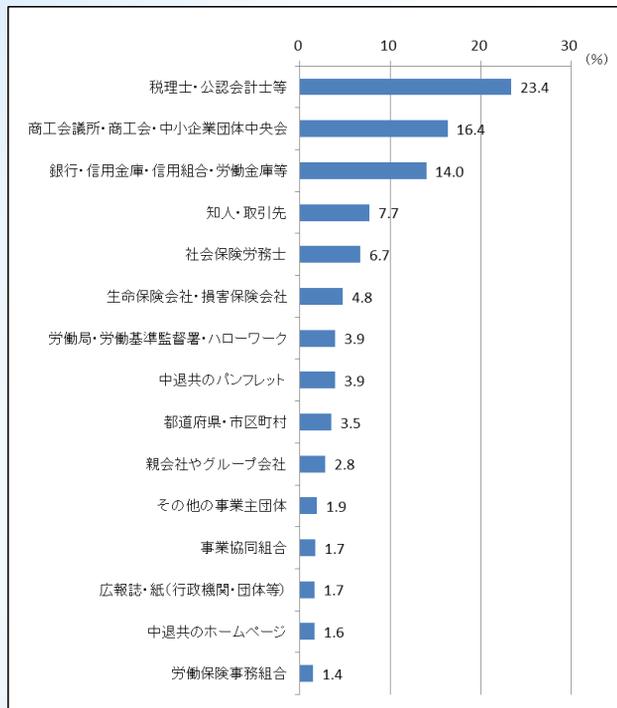
独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

令和2年3月 業務運営部

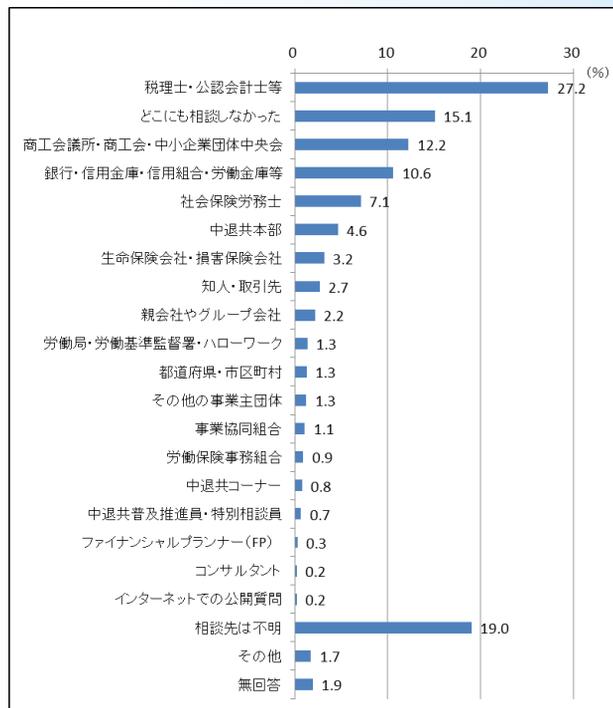
Ⅱ. 調査結果

1. 中退共への加入の経緯

【中退共を知った契機（複数回答）】



【加入時の相談先（複数回答）】



中退共を知った契機は「税理士・公認会計士等」との回答が多くなっています。



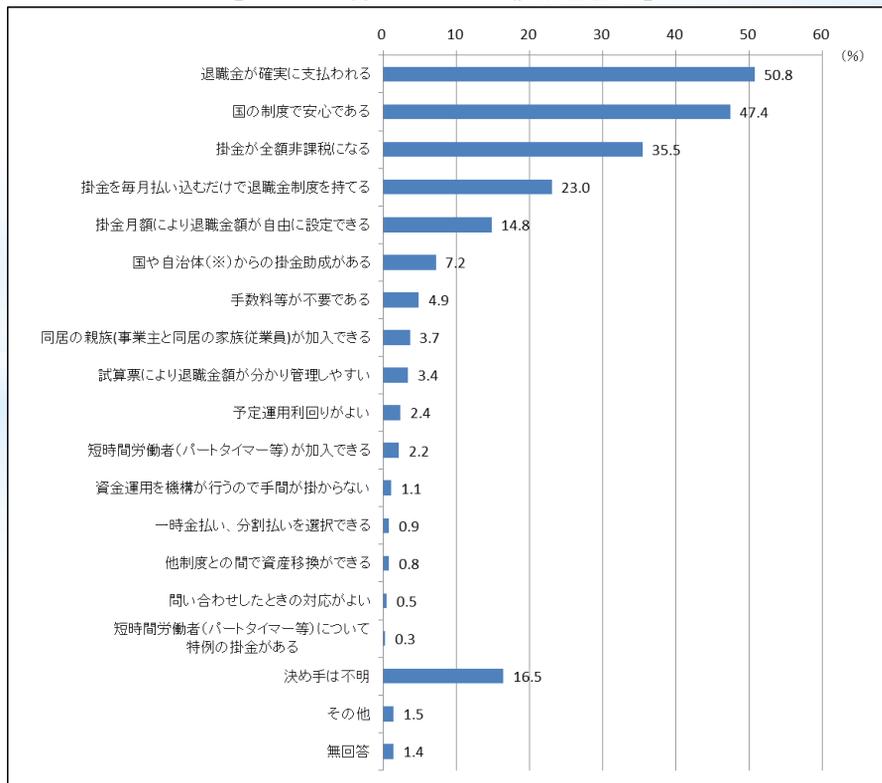
加入時の相談先も「税理士・公認会計士等」との回答が多くなっています。

中退共加入の決め手としては、「退職金が確実に支払われる」と「国の制度で安心である」が多く挙げられています。



『安心、確実』が決め手です。

【加入した際の決め手（複数回答）】



2. 退職金制度の現状

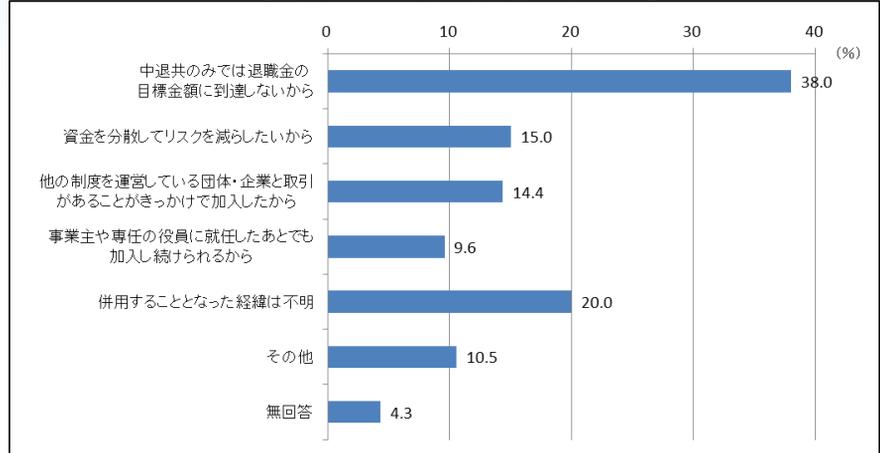
【併用している制度の有無（単一回答）】



約2割が他制度を併用しています。

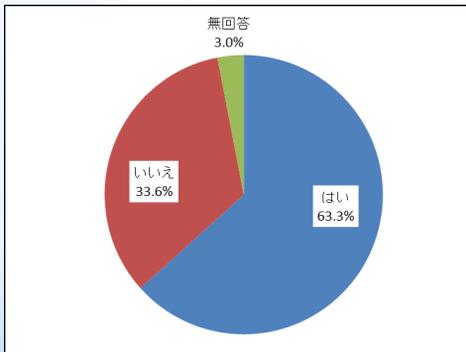


【併用している理由（複数回答）】



他制度を併用している理由は「中退共のみでは退職金の目標金額に到達しないから」が約4割を占めています。

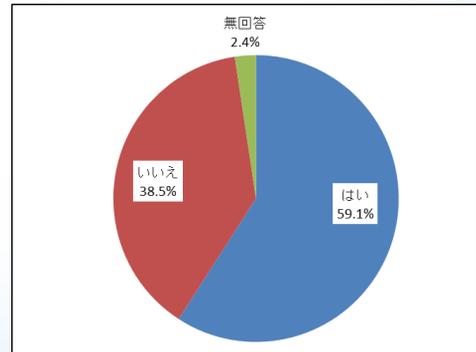
【従業員の定着率やモチベーションの向上（単一回答）】



約6割が退職金制度があることにより従業員の定着率やモチベーションの向上を実感しています。



【求人の際のアピール（単一回答）】



約6割が退職金制度があることを求人の際にアピールしています。

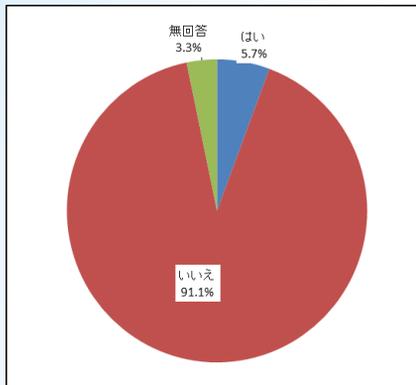
退職金制度が会社のセールスポイントになっています。



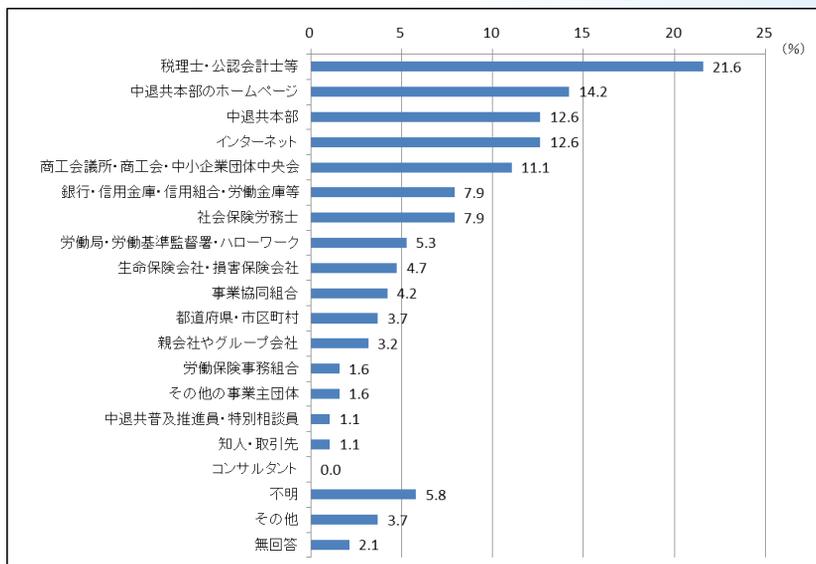
3. 新制度について

○平成30年5月1日より、合併等により1つの中小企業に中退共と企業年金制度という異なる制度が併存する場合に、どちらかの制度に統一するために、制度間で資産を移換することが可能となりました。

【新制度の認知度（単一回答）】



【新制度を知った場所等（複数回答）】



新制度の認知度は6%でした。一層の認知度向上に努めます。

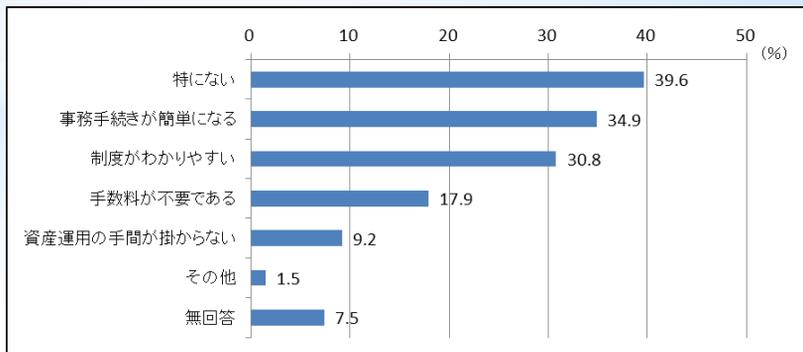


新制度を知った場所等は、「税理士・公認会計士等」との回答が最も多くなっています。「中退共本部ホームページ」や「中退共本部」との回答も多くなっています。

どちらの制度に統一するかを検討する際の注目点については、「事務手続きが簡単になる」と「制度がわかりやすい」が多くなっています。

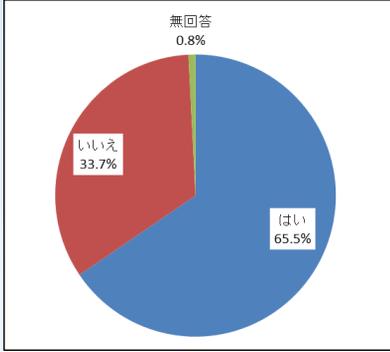


【制度統一の検討の際の注目点（複数回答）】



4. 確実に退職金をお受け取りいただくための取り組み

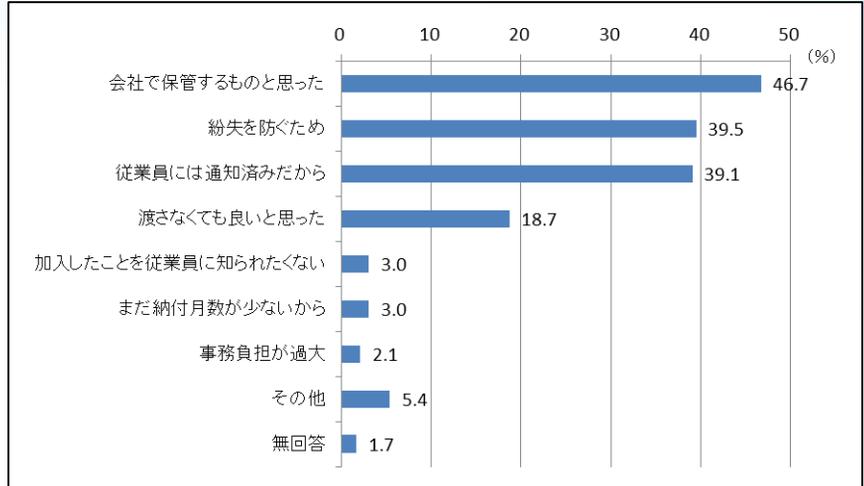
【加入通知書の配布状況（単一回答）】



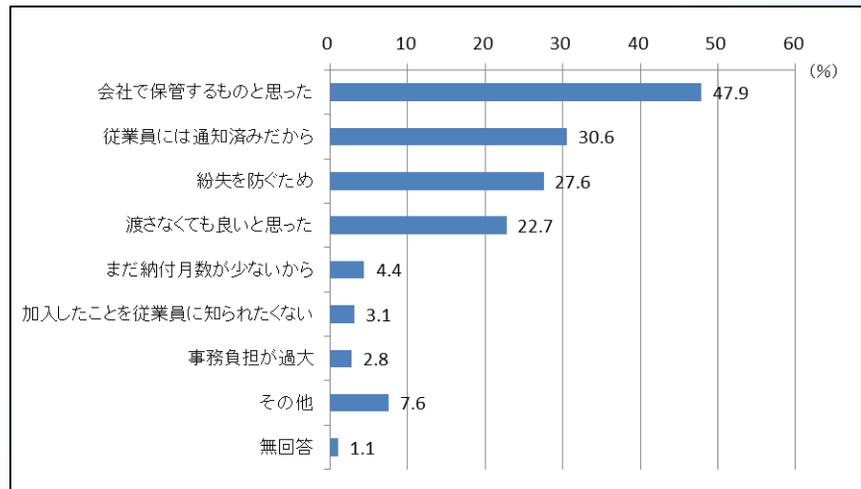
「加入通知書」を配布している割合は65%でした。



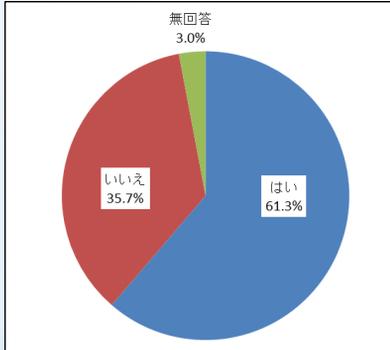
【加入通知書を配布していない理由（複数回答）】



【加入通知書を配布していない理由（複数回答）】



【加入状況のお知らせの配布状況（単一回答）】



「加入状況のお知らせ」を配布している割合は61%でした。



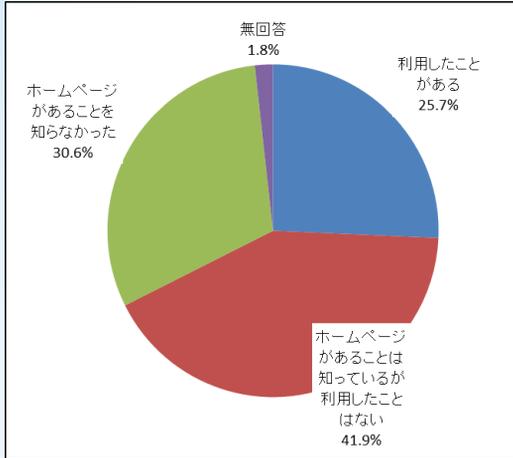
「加入通知書」と「加入状況のお知らせ」を渡していない理由は、「会社で保管するものと思った」との回答が多くなっています。
「渡さなくても良いと思った」も2割もみられています。
これらは誤解です！！

「加入通知書」と「加入状況のお知らせ」は**必ず従業員の皆さまにお渡しください。**



5. ホームページ

【ホームページの利用状況（単一回答）】



「利用したことがある」との回答は26%でした。
皆さま、ぜひご利用ください。

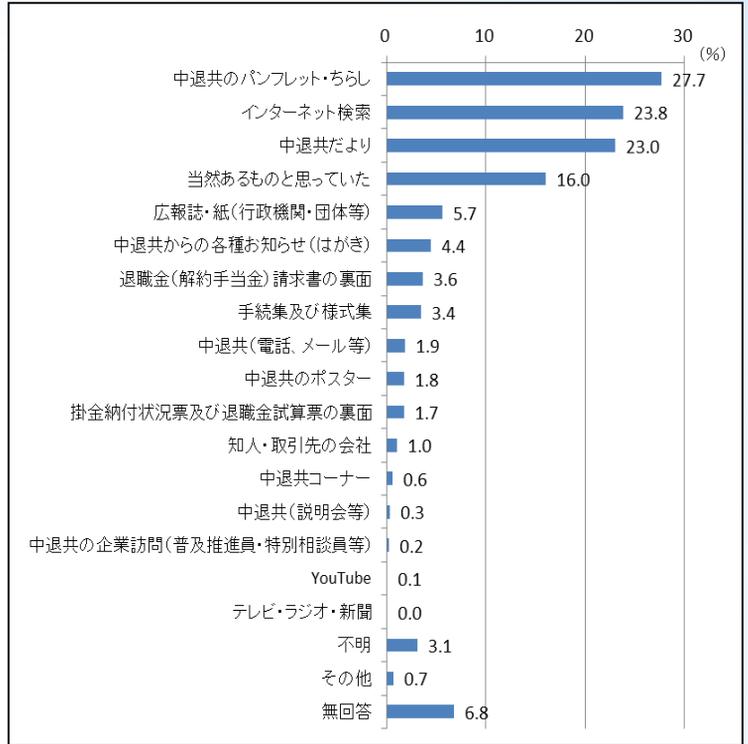


利用内容は、「**「手続き様式見本のダウンロード」**や**「手続き方法について」**との回答が多くなっています。

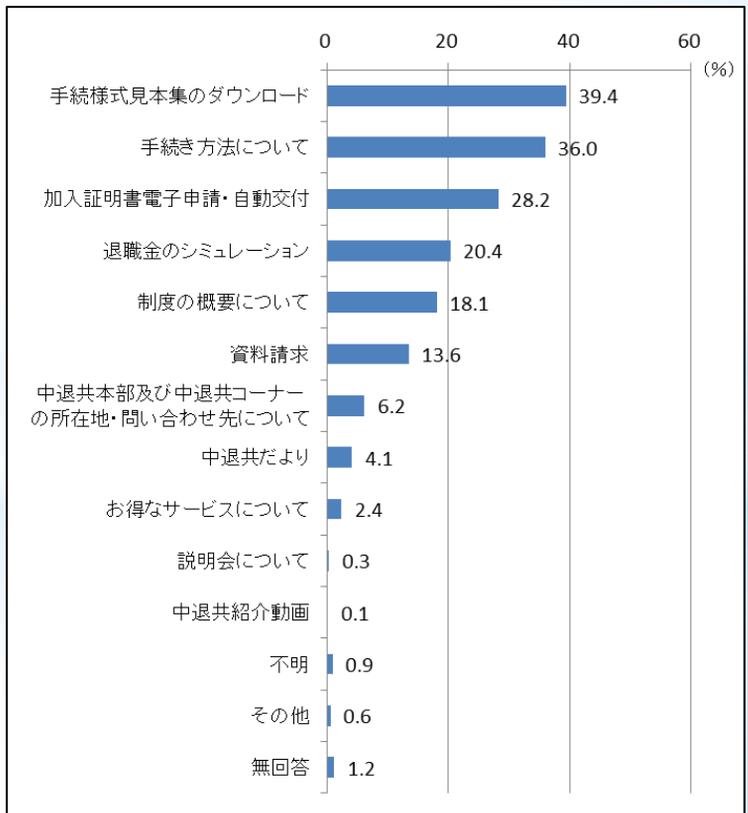


「**加入証明書電子申請・自動交付**」や**「退職金のシミュレーション」**もぜひご利用ください。

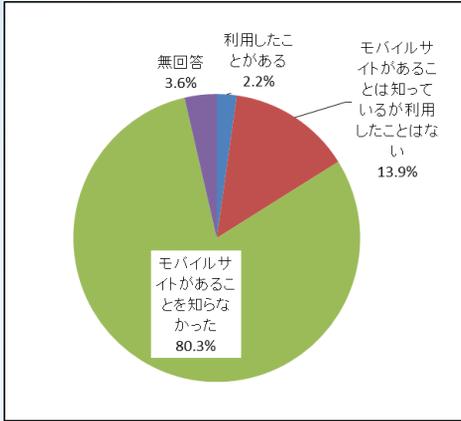
【ホームページを知った経路（複数回答）】



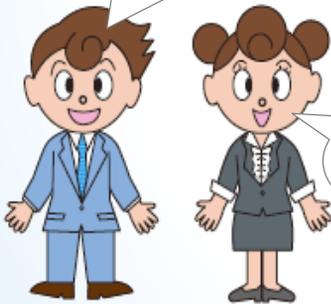
【ホームページの利用内容（複数回答）】



【モバイルサイトの利用状況（単一回答）】

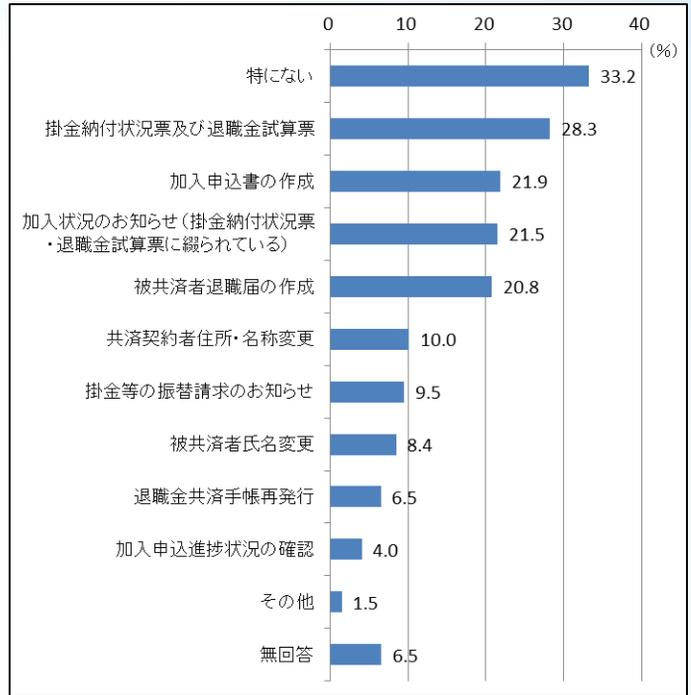


「利用したことがある」との回答は2%でした。



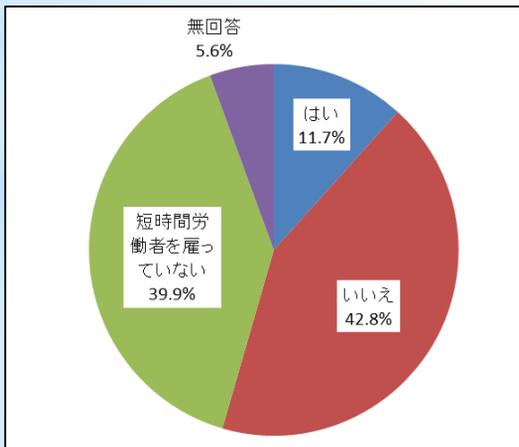
モバイルサイトも、ぜひご利用ください。

【ホームページ上で確認・手続きができれば良いこと（複数回答）】



「掛金納付状況票及び退職金試算票」、「加入申込書の作成」、「加入状況のお知らせ」、「被共済者退職届の作成」等へのご要望が多くみられます。

【短時間労働者の中退共への加入（単一回答）】



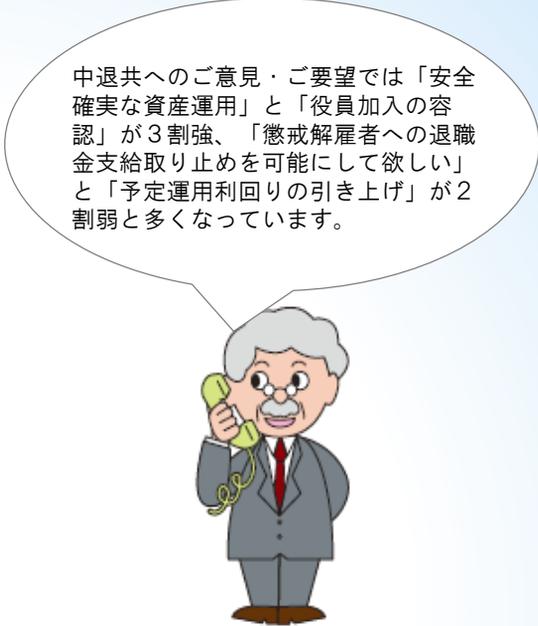
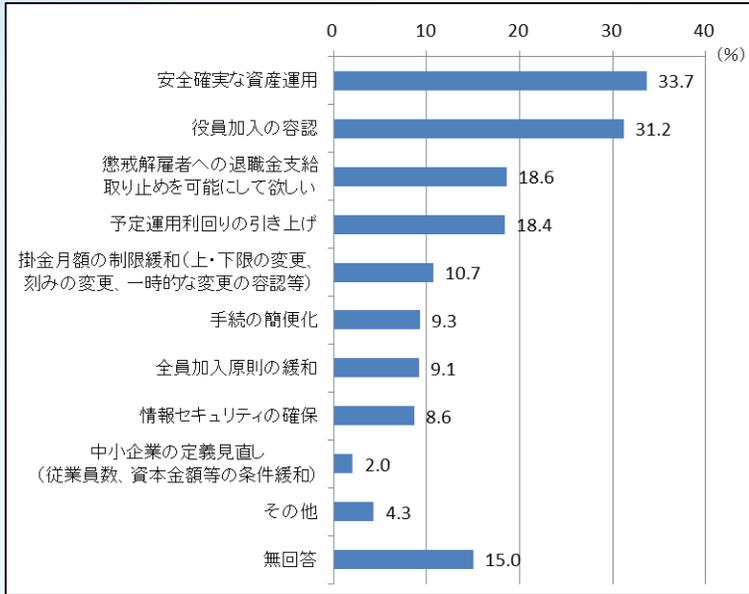
短時間労働者を中退共に「加入させている」割合は12%でした。

短時間労働者には特例掛金や掛金の助成の上乗せの特典があります。ぜひ、加入を促進しましょう。



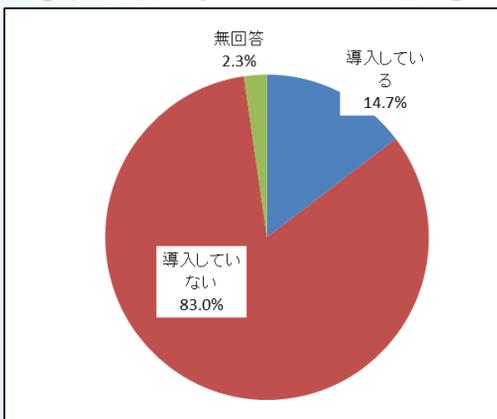
6. 加入後のご意見

【中退共へのご意見・ご要望（複数回答）】



7. 財形制度の導入状況

【財形制度の導入状況（単一回答）】



【財形制度を導入している理由（複数回答）】

